

南部町2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言文

近年、猛暑や集中豪雨など、地球温暖化が原因とされる気候変動による影響が深刻化しています。昨年公表されたI P C C（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までにCO₂の実質排出量をゼロにすることが必要とされ、この目標達成に向け日本の自治体でも動きが拡大しています。

南部町ではこれまで環境自治体を目指し、太陽光発電やペレットボイラーの導入、ごみの減量化などを進めてきましたが、これらの状況を踏まえ、南部町としてもここに「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すことを宣言し、取り組みを進めます。2020年度には、南部町温暖化防止実行計画を作成し具体的な目標値と行動計画を定め、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた普及・啓発をまち全体で共有し行動して参ります。

2020年3月9日

鳥取県西伯郡南部町長 陶山 清孝